



魚類に含まれる水銀量の評価方法及び養殖魚の生産方法

キーワード 水銀, 養殖, 尾部, 血液, 廃棄物

研究内容の概要： 廃棄されているクロマグロ尾部の筋肉や血液の水銀量を測定することで、可食部全体の水銀量を推定することができます。そのため、安価な全個体水銀調査が可能となりました。

廃棄物から水銀濃度がわかります

従来は:



尾部：断面の肉色を見るために切り落とされるが、尾部は廃棄

血液：生臭いニオイの元になるため水揚げ時に血抜きし、血液は海へ廃棄

これら廃棄物の水銀量から可食部の水銀量が推定できることがわかりました！

特長／効果

- 廃棄物を利用するので安価に水銀検査が可能
- 全個体の水銀検査が可能

利用／用途

- より安全な養殖クロマグロであることがアピールできる。
- 胎児への影響が心配な妊婦さんにも安心して食べてもらえる。

知的財産権等情報

特許出願	特開 2007-225582
論文等	1 編

農学部 水産学科 安藤 正史

<http://nara-kindai.univ.jp/02gakka/index02.html>

連絡先：近畿大学 リエゾンセンター(KLC)

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1

TEL:06-6721-2332 FAX:06-6722-0300

e-mail: klc@itp.kindai.ac.jp URL: <http://ccpc01.cc.kindai.ac.jp/KLC/index.html>